



梅雨の合間の晴れ渡った空のもと、学校のプールでは子どもたちが元気よく水泳学習に取り組んでいます。低学年では、水に慣れて水中で目を開けて息を止める練習や、水に体を浮かせる練習などを頑張っています。中・高学年では、25メートルや50メートルを目標に泳いだり、タイムを縮めたりすることを目標にして頑張っています。5・6年生の中には、市の水泳記録会に出場する子どもたちもいます。短い期間の学習ですが、思いっきり楽しんでほしいと思います。

大阪では、学校のプールの壁が地震により倒壊し、登校途中の小学生が犠牲になる事故が起きました。違法な建築物であったことが判明し、なお一層、残念な気持ちに胸が締め付けられます。本校でも、事故後すぐに学校内の点検をし、危険箇所の有無を確認しました。また、地震が発生したときの避難の仕方について、再度、担任をとおして子どもたちに指導しました。昨年は、本市でも喜入沖付近を震源とする震度4の地震が起き、本校でも全校児童を校庭に一時避難させる出来事がありました。今後も地震やその他の災害に備えることはもちろんのこと、施設の安全についても引き続き注意していきたいと思います。

しかしながら、子どもたちの安全確保を徹底するには、学校以外の場所にも注意する必要があります。学校やPTA、コミュニティ協議会などで危険箇所として注意を促している場所だけではなく、公園や通学路、自動販売機の設置箇所などの日常生活空間も注意して見ていく必要があります。建物の壁や塀は大丈夫でしょうか、立ち枯れた樹木はないでしょうか、公園の施設は錆朽ちていないでしょうか、自動販売機はしっかりと固定してあるでしょうかなど、みんなの目を見ていく必要があると思います。学校としても、PTAやコミュニティ協議会、町内会などと連携を図りながら、今後も子どもたちの安全確保に取り組んでまいります。危険な箇所に関する情報などがありましたら、ご連絡ください。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

6月4日から10日までの1週間は「歯と口の健康週間」でした。それにちなんで、校内には「むし歯予防の標語」が掲示してあります。どれも子どもたちらしい言葉で、歯の大切さとむし歯予防を訴える作品になっています。

### 「むし歯<sup>ばぜろ</sup>0<sup>れいてん</sup>0点<sup>まんてん</sup>だけど満点だ」

この標語は、5年生の女の子の作品で、「鹿児島市歯と口の健康週間標語作品」で入選したものです。

今年度当初に行った歯科検診によると、本校児童の78%にあたる児童が「むし歯ゼロ」の子どもたちでした。(昨年度同時期では、74.2%でした。)昨年度の治療率が上がったことも影響しています。

これからも歯と口の健康を保てるように、保護者と連携を図りながら指導していきたいと思います。